

事業概要 【くまもとDX推進データ連携基盤構築事業】

【別紙】

実施地域 熊本県域

実施主体 熊本県

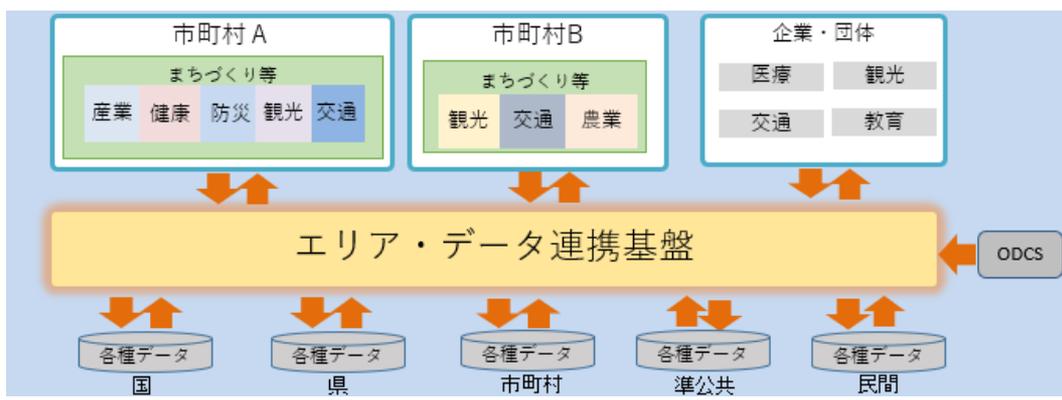
事業概要 熊本県においては、少子高齢化に伴う人口構造の変化や若年層の都市部への流出等による人口減少が課題となっている。デジタルの力を活用して、人口減少下でも生産性向上や上質な住民サービス等による「産業の発展を共創し県民所得を伸ばし続ける県」、「ひとを惹きつける快適で安全な生活環境を共創する県」を実現するため、県内市町村と共同で利用できるエリア・データ連携基盤を構築し、官民のデータを相互に連携することで、県民一人ひとりに寄り添った行政サービスや、民間企業におけるデジタルを活用した新事業の創出を実現する。

取組内容

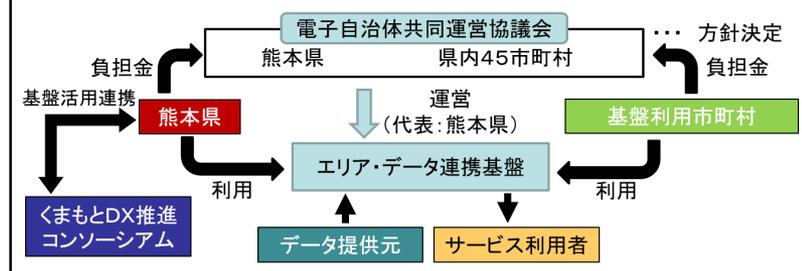
県及び県内市町村が共同で利用できる非パーソナルデータを取り扱うエリア・データ連携基盤を構築し、データを活用した住民サービスの展開を促進することで、県内におけるデジタル化・DXをより一層推進する。

具体的には、県において、デジタル庁が推奨するモジュール「FIWARE ORION」を核としたビルディングブロック方式による基盤構築を行い、県内市町村と共同利用を行うスキームとし、市町村の負担軽減を図りながら、県内市町村におけるデジタル技術やデータを活用した新たなサービスの創出等の加速化につなげる。

併せて、接続したデータを視覚的にわかりやすく表示するためのダッシュボードサービスを構築・実装し、ニーズが高い防災や観光分野に関わるデータの可視化及び活用を進めるとともに、構築後も順次、避難誘導支援サービスや地域ポイントサービスなど、参画市町村の個別サービスについて接続を進める。



実施体制図



システム構成図

※赤枠内部分を本事業で構築

